

令和2年度（2020年度）地域医療介護総合確保基金事業（医療分）提案調査票

事業の名称		脳卒中センター整備事業						
事業の実施主体		社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院						
対象圏域		湖南圏域						
事業期間		令和2年4月1日～令和3年3月31日						
事業の分類	(大)	I 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業						
	(中)	(1) 医療提供体制の改革に向けた施設・設備の整備 等						
	(小)	5 病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備						
事業の概要 (積算)		<p>《事業概要》</p> <p>当院は6床の脳卒中専門病棟（SCU）を設置している。SCUは3対1の看護師配置、24時間の脳卒中専門医当直、常勤の理学療法士配置が義務づけられた専門病棟である。地域の医療需要に対応するために、現在の6床を12床に増床して運用するための施設改修および設備整備事業を実施する。</p> <p>《積算》</p> <p>○SCU病床数 6床 → 12床</p> <table border="1"> <tr> <td>施設改修費</td> <td>21,400千円</td> </tr> <tr> <td>設備整備費</td> <td>1,580千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,980千円</td> </tr> </table>	施設改修費	21,400千円	設備整備費	1,580千円	計	22,980千円
施設改修費	21,400千円							
設備整備費	1,580千円							
計	22,980千円							
現状と課題、事業の目的		<p>昨今の研究では、SCUにおける2週間の急性期診療と積極的なリハビリテーションが合併症予防と機能予後の改善をもたらすことがわかっている。</p> <p>当院では、昨年度536名の脳卒中患者を診療した（県下最多数）が、6床のみのSCUに収容できた患者は344名で、SCU平均入室日数は7.2日と非常に短く、SCU入室効果を十分に発揮できていない現状がある。</p>						
地域医療構想との関係性		<p>湖南圏域のMDC別将来推計患者数によると、患者増加率が高齢化に伴い高くなる脳卒中への対応が急務となる。2025年増減率（対14年比）では、脳梗塞は34.3%増加、くも膜下出血、破裂脳動脈瘤は23.2%増加、非外傷性頭蓋内血腫は30.7%増加が予測されており、現状のSCU6床では対応できなくなることが考えられる。</p>						
事業の成果・効果		<p>今後の増床によって、より多くの患者をSCUに収容することができ、2週間の急性期診療と積極的なリハビリテーションにより、合併症予防と機能予後を改善することが期待できる。</p>						
達成目標	目標とする事項	SCU病床数						
	現在値	6						
	目標数値	12						